

第 1 号議案— 1

品質保証研究会
平成 25 年度活動報告

1. 活動状況

(1) 平成 25 年度の活動は、第 23 回通常総会で承認された活動計画に基づき展開し、所期の成果を収めることができた。

番号	項 目	内 容		回数
1	通常総会	第 23 回通常総会の開催		1 回
2	品質保証研究会全体活動	会員相互間の啓発	講演会	1 回
			見学会	1 回
3	Q A S G ニュースの発行	会員の活動状況や、品質保証に関する情報交換	第 79 号～81 号	3 回
4	定例研究会活動	グループ毎にテーマを定めての品質保証に関する調査・研究活動と会員への成果提供	第 1 グループ	6 回
			第 2 グループ	3 回

(2) 平成 2 5 年度品質保証研究会の活動実績を表 1 に示す。

2. 活動要約

平成 2 5 年度の活動要約を表 2 に示す。

表1 品質保証研究会 平成25年度活動実績

○・▽：計画 ▼：実績

項目		2013年(平成25年)						2014年(平成26年)							
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
全体活動	総会	第23回 6/4 ▼												第24回 6/10 ▼	
		講演会							○ (案内発送)	第41回 - - - - - . ▼					
	実績											4/8 ▼			
	計画					第39回 ○ - - - - - ▼ (案内発送)									
	実績						AGC旭硝子 11/15 ▼								
	計画		○ (依頼)	- ⊖ - - - - - (締切)	79号 - - - - - - ▼ (発行)		○ (依頼)	- - - - - ⊖ (締切)	80号 - - - - - ▼ (発行)		○ (依頼)	- - - - - ○ (締切)	81号 - - - - - ▼ (発行)		
	実績				8/29 ▼				1/20 ▼				5/30 ▼		
	第1グループ	計画		▽ (定例研究会)		▽ (定例研究会)		▽ (定例研究会)		▽ (定例研究会)				▽ (定例研究会)	
		実績		7/31 ▼		9/25 ▼		11/19 ▼		1/23 ▼		3/10 ▼	4/22 ▼		
	第2グループ	計画						▽ (研究幹事会)			▽ (研究幹事会)			▽ (研究幹事会)	
実績							11/1 ▼		1/21 ▼				5/7 ▼		
H. Pメン テナンス	計画	- - - - -	- - - - -	- - - - -	- - - - -	- - - - -	- - - - -	- - - - -	- - - - -	- - - - -	- - - - -	- - - - -	- - - - -	→	
	実績	- - - - -	- - - - -	- - - - -	- - - - -	- - - - -	- - - - -	- - - - -	- - - - -	- - - - -	- - - - -	- - - - -	- - - - -	→	
幹事会	計画			第152回 ▽		第153回 ▽		第154回 ▽				第156回 ▽	第157回 ▽		
	実績			8/21 ▼		10/22 ▼		12/18 ▼		2/18 ▼		4/16 ▼	5/15 ▼		

表2 平成25年度 品質保証研究会 活動要約(1/2)

番号	項目		日時・場所等	参加人員	内容
1	第23回 通常総会		平成25年6月4日(火) 学士会館 3階320号室	50名 (他、委任 状35名)	(1)議案審議 ①平成24年度活動報告・会計報告の承認 ②平成25年度活動計画・予算案の承認 ③会則の一部改訂の承認 (2)定例研究会活動状況報告、特別講演
2	講演 会	特別講演	平成25年6月4日(火) 学士会館 3階320号室	71名	組織論のこれから 高木晴夫氏〔慶應義塾大学 大学院経営管理研究科〕
		第41回 講演会	平成26年4月8日(火) TKP東京駅八重洲カンファ レンスセンター(8F)8E室	50名	航空業界における Safety Management System 田中龍郎氏〔全日本空輸株式会社 執行役員 総合安全推進室長 兼 安全推進センター長〕
3	見 学 会	第39回 見学会	平成25年11月15日(金) AGC旭硝子 AGCモノづくり研修センター	25名	実際の工場とほぼ同じ設備や装置を使いな がら、危険等の体感学習状況など
4	定 例 研 究 会	第1 グループ (リーダー： 武田博文 幹事)	【研究テーマ】 品質システムの研究「原子力QMSのあるべき姿に関する研究 ーセクタ規格の調査・研究ー		<u>定例研究会</u> 平成25年 7月31日 平成25年 9月25日 平成25年11月19日 平成26年 1月23日 平成26年 3月10日 平成26年 4月22日
		【研究の内容】 原子力 QMS のあるべき姿を追求するため、セクタ規格の調 査、及び原子力 QMS として取入れるべき要求事項の検討とし て以下を実施。 1. セクタ規格の調査 自動車／医療／航空宇宙業界のQMSに関するセクタ規格 の要求事項について、ISO9001:2008 との比較調査を行った結 果をもとに、原子力 QMS として取り入れるべき要求事項を明 確にした。 2. 原子力 QMS のあるべき姿の提言 抽出された各セクタ規格での活動が、原子力業界として実 効的な品質保証活動に繋がるかの、また原子力のあるべき姿 とは何かについて討議する上で、セクタ規格の調査に加え最 新の動向として、 a. ISO9001:2015 改定案 (ISO/CD 9001) の調査 b. JEAC4111、JEAG4121 附属書-1 の改定案調査、 c. IAEA GSR Part2 DS456 改定案の調査 d. NSQ-100, JEAG4121-2009, NQA-1-2008 の比較 を行った。また、上記 a 項の調査の過程において抽出された 疑義事項は、日本規格協会へ ISO/CD 9001 に対するパブコメと して提出した。			
		第2 グループ (リーダー： 氏田会員)	【研究テーマ】 エラーマネジメントに関する調査研究		<u>研究幹事会</u> 平成25年11月 1日 平成26年 1月21日 平成26年 5月 7日
		【研究の内容】 今年度の研究テーマは大きく二つ 1. 福島第一事故の総括 1.1 福島第一事故の分析と評価 ・福島第一事故時テレビ会議分析(中西先生)(第1回) ・福島第一/第二事故時対応比較分析(吉澤氏)(第2回) ・福島第一事故時緊急時対応 RE/HRO 分析(来年度予定) 1.2 安全思想の再構築 ・原子力の自主的安全性向上論点(原子力政策課)への コメント、なぜそうなったかの視点で分析(第3回) ・確率論的安全評価(PRA)の日米比較分析(第3回) ・安全思想の再構築工程検討(来年度予定) 2. EM 研昨年度検討テーマの継続 2.1 Resilience Analysis Grid(RAG)の詳細化(第1回説明) /各社の検討結果(第3回) 2.2 良好事例の分析：アポロ13号(第1回) ハドソン川不時着・ハヤブサ帰還(第3回)			

表 2 平成 2 5 年度 品質保証研究会 活動要約(2/2)

番号	項目	内容
5	Q A S G ニュースの発行	<div> (1) 第 79 号 平成 25 年 8 月 (2) 第 80 号 平成 26 年 1 月 (3) 第 81 号 平成 26 年 5 月 </div> <div> ①第 23 回通常総会報告 ②第 1・2 グループ活動計画 および活動報告 ③平成 25 年度役員紹介 ④第 41 回講演会報告、他 </div>
6	幹事会	上記諸活動の計画・推進または支援のため、必要な都度、幹事会を開催した。 (幹事会：第 152 回～第 157 回の計 6 回開催)